

2026 年 8 月 21 日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Fortinet 製品ユーザーサポート

サードパーティ製ライブラリの更新に起因した FortiClient EMS のアップグレード失敗について
(CSB-260729-1)

拝啓、平素は Fortinet 製品サポートをご利用下さいまして誠にありがとうございます。

この度 Fortinet 社より、FortiClient EMS を対象バージョンへアップグレードする際に失敗する事象がアナウンスされています。

影響を受けるバージョンをご利用予定のお客様におかれましては、下記回避策または対策版イメージの適用をご検討くださいますようお願いいたします。

敬具

記

1. 概要

FortiClient EMS のアップグレード処理の一環として更新されるサードパーティ製ライブラリ Redis バージョン 8.10.0 に不具合があり、FortiClient EMS をバージョン 7.4.3 以降および 8.0.0 へアップグレードする際に、アップグレードが失敗する事象が発生します。

2. 影響を受けるバージョン

下表のバージョンにアップグレードしようとした場合、本事象の影響を受けます。

項	対象製品	対象バージョン	備考
1	FortiClient EMS	7.4.3～7.4.7	
2		8.0.0	

3. 回避策

本回避策は Ubuntu 22 および Ubuntu 24 のみが対象です。VM アプライアンス版の FortiClient EMS には適用されません。

Ubuntu 22 または Ubuntu 24 で FortiClient EMS をインストールまたはアップグレードする前に、Linux ホスト上で以下コマンドを実行してください。

```
sudo install -m 644 /dev/null /etc/apt/preferences.d/forticlientems-redis
sudo cat >/etc/apt/preferences.d/forticlientems-redis <<EOF
Package: redis*
Pin: version 6:8.8.1-1rl1~*
Pin-Priority: 1001
EOF
sudo chmod 644 /etc/apt/preferences.d/forticlientems-redis
```

上記コマンドを実行することで、Redis ライブラリを既知の正常動作バージョンである 8.8.1 に維持します。コマンドが正常に実行されたことを確認後、FortiClient EMS のアップグレードを実施してください。

4. 対策バージョン

対策バージョン(build 番号)は以下の通りです。

項	対象製品	対策バージョン	備考
1	FortiClient EMS	7.4.8 build 2245	Build date : 2026 年 7 月 30 日

Fortinet 社は Redis ライブラリについて Linux 開発コミュニティから修正版が公開されるまで、Linux ホスト上のサードパーティ製ライブラリを手動でアップデートしないよう推奨しています。

以上